

写経のお作法 ※落ち着いた環境で、心とからだを整えてから写経いたしましょう

- 1、部屋をきれいにし、机に用具をととのえます。
(墨、硯、筆、文鎮、用紙など。筆ペンやサインペンでも結構です)
お香(線香)をたくのもよろしいかと思えます。
- 2、手を洗い、口をすすぎ、身だしなみを整えます
- 3、背筋をのばして、よい姿勢をとります
- 4、目を軽く閉じ、深呼吸を3回いたします
- 5、気持ちが落ち着いたら合掌し、一礼いたします。
※この後お経を唱えすることも、より丁寧な作法です。
『懺悔文』『開経偈』、『般若心経』をお唱えするのが一般的です。
- 6、実際に書写していきます。
一字一字心をこめて書きましょう。
急ぐことはありません。無理のない速さで丁寧にすすめましょう。
ひとりで何枚書いてもよく、また少しずつ書いて1枚を仕上げて結構です。

経文を書き終わりましたら、最後に願いごと(願意)を書きます。
「為先祖代々菩提也」
「家内安全」「身体健全」「学業成就」「心願成就」「疫病退散」などです。
- 7、ご自身の写経を最初から最後まで見つめましょう。
誤字・脱字がないか確かめます。
あればその箇所に点を打ち、正しい字をその行の上または下に書きます。
- 8、合掌し、願いを込めて一礼いたします。
「南無大師遍照金剛」とお唱えして座をさがります。

写経した用紙は、仏前や清らかな場所に納めましょう。
後日、状況が落ち着いた時に、壽徳寺やご縁のあるお寺へ奉納いたしましょう。